

心肺蘇生法について

海老名総合病院
救命救急センター
若井慎二郎



- ・突然の心停止！
- ・心肺蘇生法(=**CPR**)
 - 胸骨圧迫
 - 気道確保＋人工呼吸
 - **AED**について

本日のお話

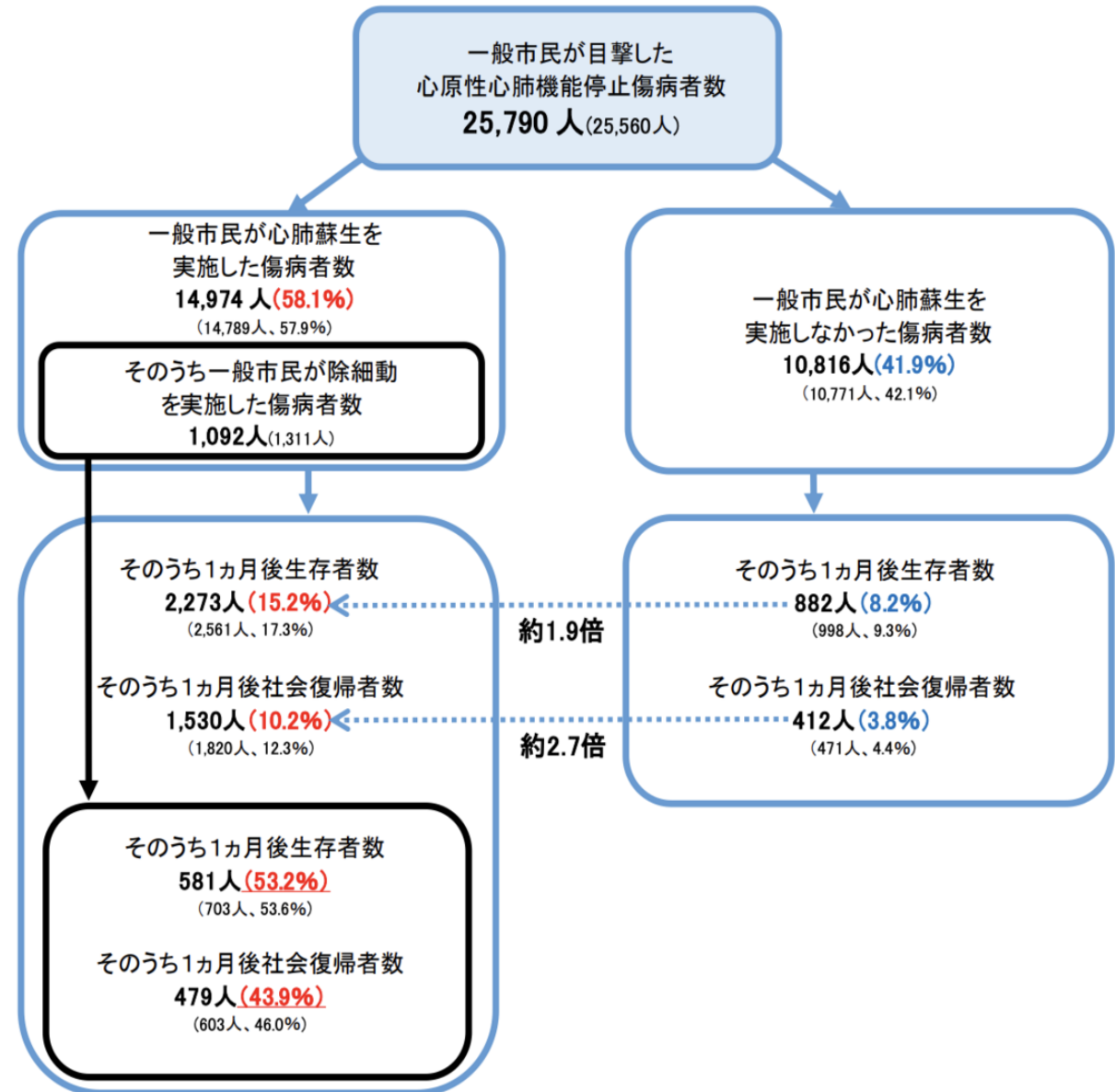
突然の心停止

突然倒れて心停止となる人

約25,000人

救命率を上げるためには

- ① 質の高い**CRP**
- ② 迅速な**AED**の使用



救命の連鎖

IHCA = 院内心停止



OHCA = 院外心停止

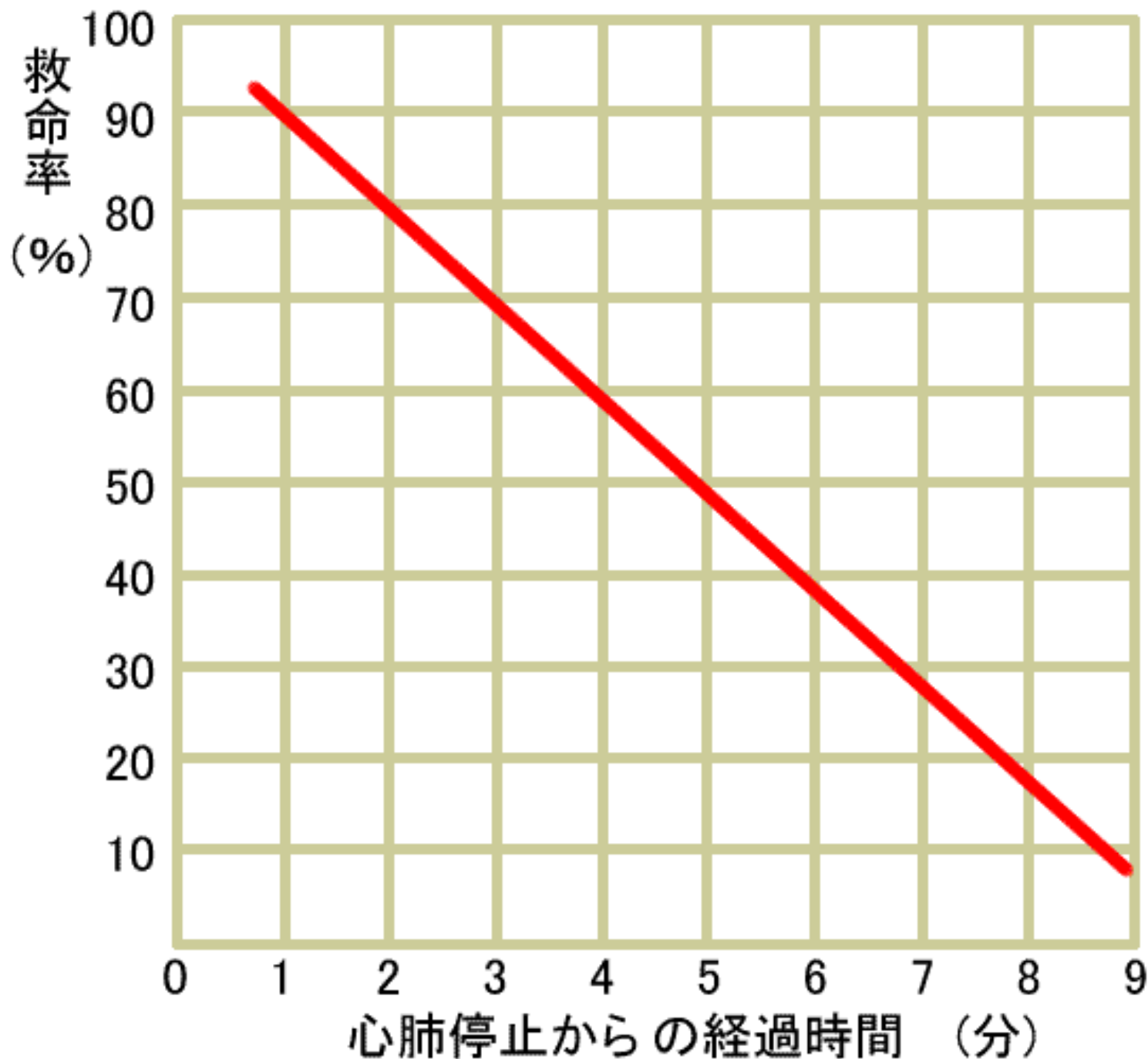


迅速な認識と 119番通報の必要性

覚知(119番通報)から
救急隊現場到着までの時間
⇒ **全国平均 10.3分**

病院収容までの所要時間
⇒ **全国平均 47.2分**

令和4年度総務省資料より



通報したら・・・

質の高いCPR

迅速なAEDの使用

大事なことは

質の高いCPRとは？

ポイント

- 1 強く(5cm以上6cm未満)
- 2 速く(100~120回/分)
- 3 押したら戻す
- 4 胸骨圧迫の中断を少なく
- 5 適切な換気



1. 強く(5cm以上6cm未満)

冠灌流圧(心臓の栄養)が維持される



心拍再開の可能性UP!

※注意点

胸骨圧迫が深すぎるといふよりは
浅すぎる事が多いためしっかり
胸骨圧迫を行う事が重要！！



2. 速く(100~120回/分)

回数が多すぎる(120回/分以上)と...



超えた分に応じ圧迫の深さが浅くなる

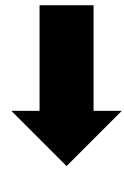
テンポとしては...

- うさぎとかめ
- アンパンマンマーチ
- ステイン・アライブ

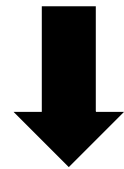


3. 押したら戻す

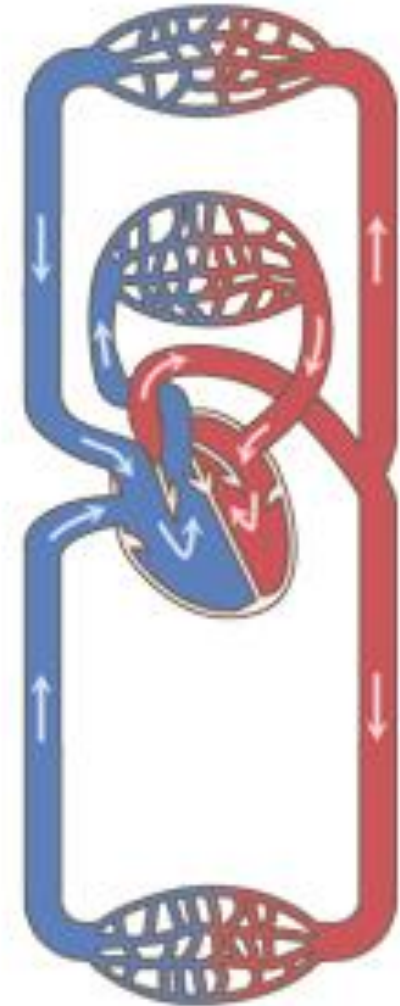
胸郭の戻りが不完全



胸腔内圧が上昇



戻ってくる血液量が減少



4. 胸骨圧迫の中断を少なく

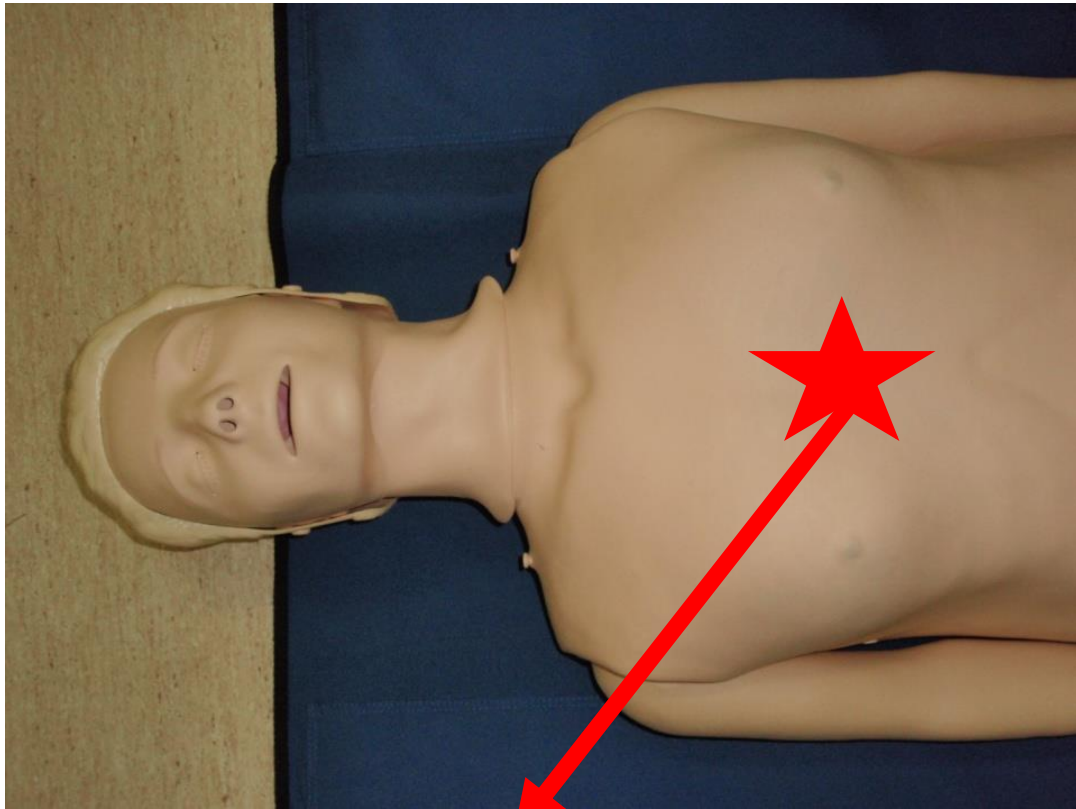
胸骨圧迫の中断時間



10秒以内にとどめる！



※胸骨圧迫の実際



胸骨中央の下半分に手を置く



正しい姿勢

5. 適切な換気

気道確保

頭部後屈顎先挙上法



5. 適切な換気

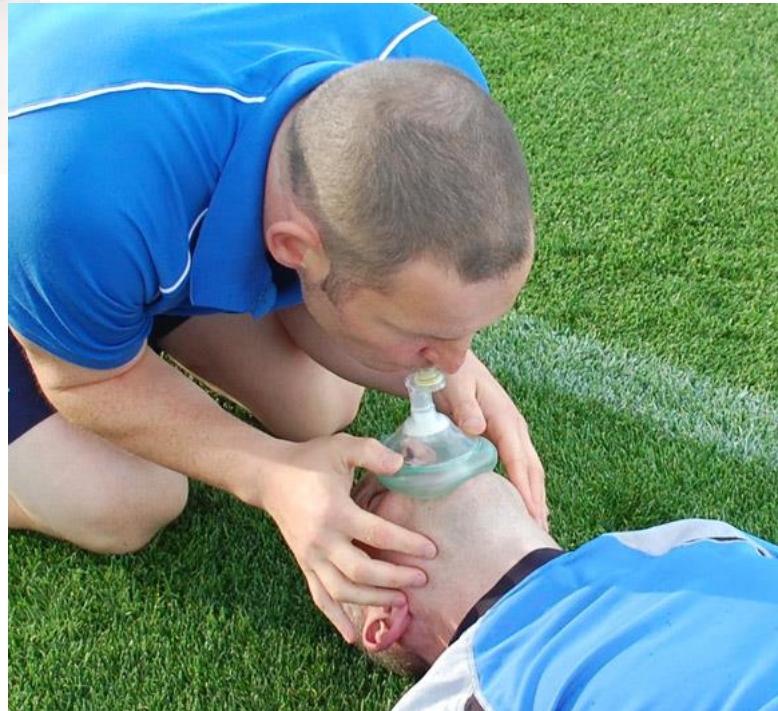
人工呼吸

様々なデバイス



↑フェイスシールド

ポケットマスク→



↑バグバルブマスク

※ハンズオンリーCPR

- 医療従事者や訓練を受けた人ではない場合
→ **胸骨圧迫のみ**を継続するCPR
- もちろん胸骨圧迫＋換気ができる方がよいが・・・
 - うまくできる自信がない
 - 知らない人に人工呼吸なんてできない
 - 感染症を持っているかもしれない

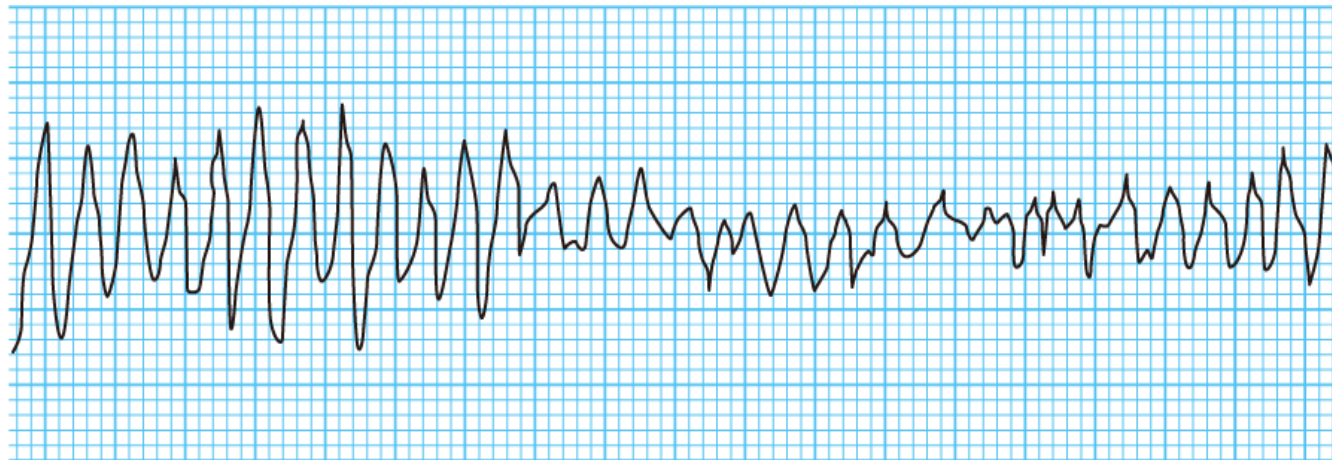
せめて胸骨圧迫だけでも！

迅速なAEDの使用

心停止にもいくつか種類がある

- 心室細動
- 無脈性心室頻拍
- 無脈性電気活動
- 心静止

電氣的治療が必要な状態



すべての人に
効果がある
わけではない

迅速なAEDの使用

AED(=Automated External Defibrillator)とは

きちんとした使い方をすれば
勝手に波形を解析して
必要に応じて電氣的治療

をする機器です。

AED設置場所

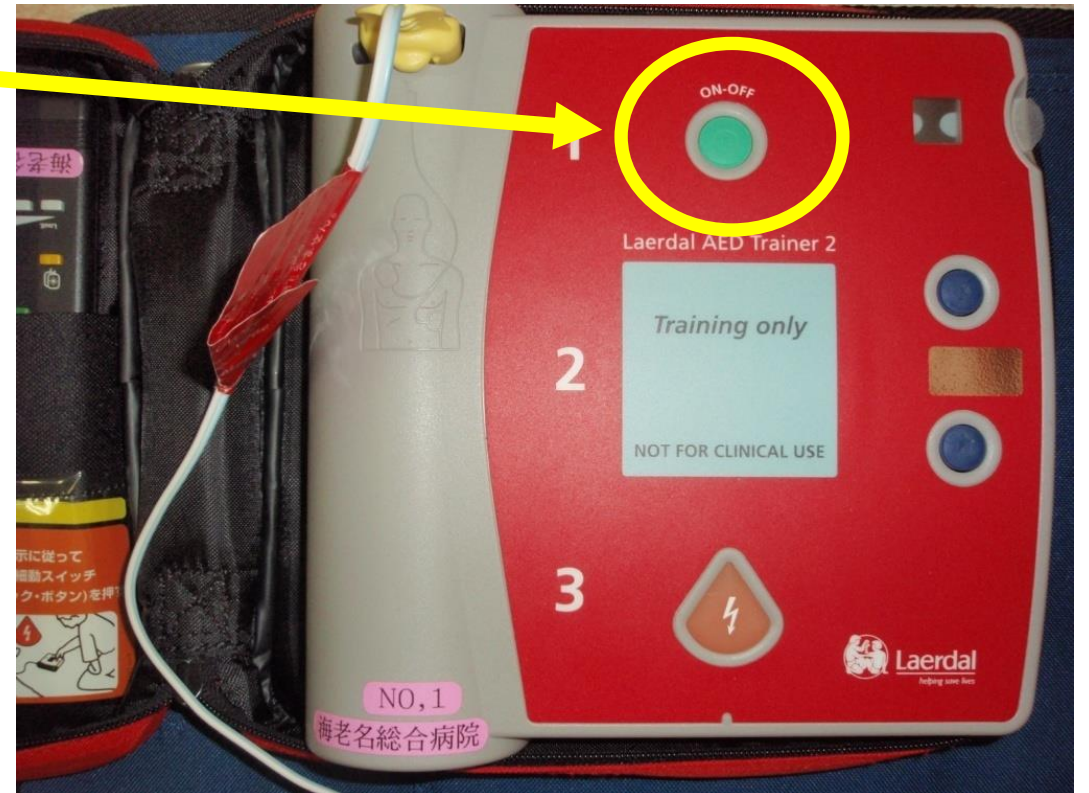


AEDの使用⽅法①

＊ ＊ 音声ガイドに従うこと ＊ ＊

1. 電源をON

※メーカーにより蓋を明けると自動的に電源が入るタイプもあります。



AEDの使用方法②

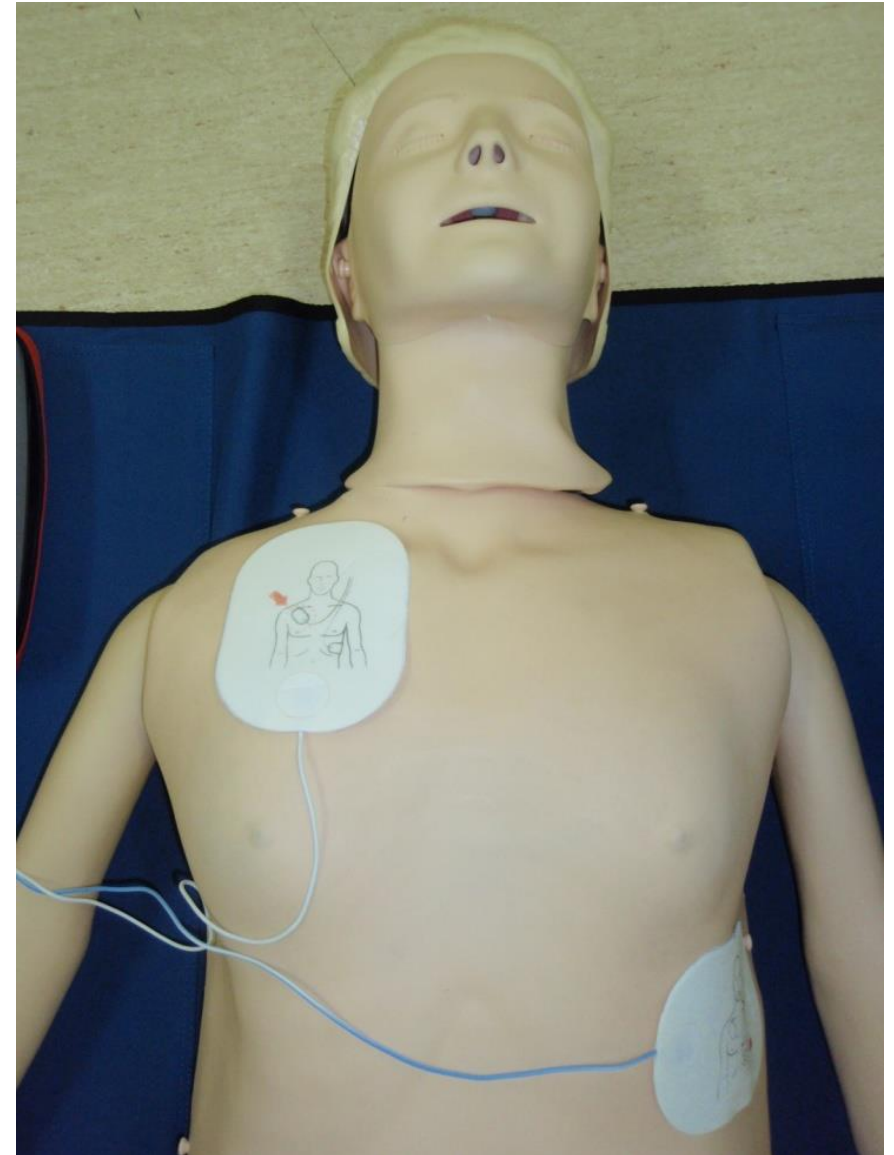
2. 電極パッドを胸に貼る

(胸骨圧迫は中断しないこと)

3. 「解析中です」とメッセージが

流れたら傷病者から離れる。

(解析中は胸骨圧迫を中断)

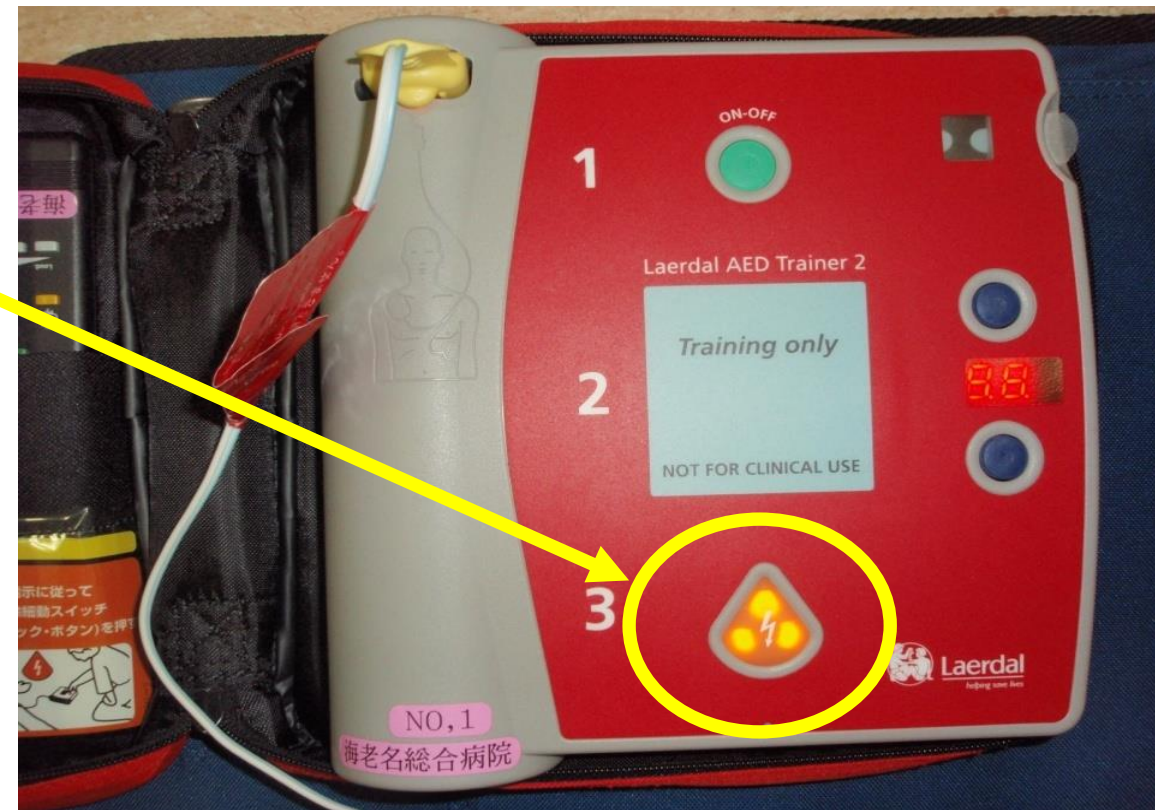


AEDの使用⽅法③

4. 「ショックが必要です。充電中…」
⇒ 胸骨圧迫を再開する

5. 周囲の安全確認後、
点滅したら放電ボタン
を押す

6. すぐに胸骨圧迫再開



大事なことは

質の高いCPR

迅速なAEDの使用

では実際にやってみましょう！

